

## 「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学

受付番号	2025-2-069-0000
倫理審査（初回審査）	2025 年 11 月 12 日
研究課題名	なぜ気胸は難治化するのか？ 手術を回避せざるを得ない患者背景と予後についての後方視的検討
研究の対象	2018 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに当院で続発性自然気胸と診断され治療を行った
研究の概要 （試料・情報の利用目的及び利用方法）	当院で入院治療を行った続発性自然気胸を対象に、治療に難渋するリスク因子の同定と、治療後の予後の検証を行う。
研究期間及び 試料・情報の 利用開始予定日	2025 年 11 月 18 日 ～ 2025 年 12 月 31 日
調査データ該当期間	2018 年 1 月 1 日 ～ 2025 年 10 月 30 日
研究に用いる試料・ 情報の種類	年齢、性別、ASA-PS（米国麻酔科学会術前状態分類）、ECOG-PS、日常生活自立度、BMI、併存疾患（COPD、間質性肺疾患、NTM など）、術前在宅酸素使用、術前吸入薬使用、術前ステロイド使用、術前ニンテダニブエタンスルホン酸塩使用、術前 PaO <sub>2</sub> /FiO <sub>2</sub> 比、術前血液データ（TP、Alb、リンパ球数などの栄養評価項目も含む）、手術時間、麻酔記録、気胸発症時の初回治療法（胸腔ドレナージ、癒着療法、EWS、手術などの初回介入を指す）、入院中のリハビリテーション記録、術後合併症、ドレナージ期間、入院期間、最終生存確認日、死亡原因
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。</p> <p>【照会先 及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室 1-12-1 TEL:022-259-1221 研究責任者：外科学第 2(呼吸器外科) 野々村 遼</p>

## ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

#### ＜個人情報保護法第 21 条＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

## ◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。 診療情報に関する保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

[https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/about/privacy\\_policy.html](https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/about/privacy_policy.html)

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

#### ＜個人情報保護法第 33 条＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合